



小川一成の県政報告

発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

6月議会報告

危険ドラッグの規制に関する条例を 小川県議が提案し、可決した!

6月定例会の最終日における本会議で「茨城県薬物の濫用の防止に関する条例」を提案し、その理由を申し上げました。

この条例はいわゆる「危険ドラッグ規制条例」で国の法整備が次々と現れる新しい危険ドラッグに追いつかない現状を踏まえ、速やかにその法の間隙を埋め県民の命と暮らしを守り、安心して暮らすことが出来る社会の実現に寄与することを目的として提案いたしました。

昨年9月に茨城県医師会ほか4機関及び関係部局を交えて意見交換会を開催した際に、早急に条例の制定をすべきだと痛感。その後プロジェクトチームを立ち上げ勉強会を重ねて、4月20日に高等学校PTA連合会ほか12機関との意見交換会を開催しました。

水戸地検との事前協議を3月4日に行い、5月13日まで文言の修正などを含め、慎重な協議を行いました。



危険ドラッグ本会議で上程

その間にパブリックコメントを4月21日から5月20日まで実施し、やっと今回、本条例を提案する事が出来ました。

尚、この条例は地方自治法上、条例で科することができる最も重い罰則(2年以下の懲役又は100万円以下の罰金)を科すことといたしました。



条例化に向けての会議を招集

県内視察

5月21日県議会「文教警察委員会」の県内調査に参加。常陸太田市にある国指定の史跡「水戸徳川家墓所」の視察では、14代にわたる歴代藩主の墓所が東日本大震災で石垣の崩落など大きな被害を受けており、その復旧作業の現場を見せていただきました。(徳川家個人の所有のために今日まで非公開でした。)

復旧作業が終わった後、公開するかどうかは決まっていますが、二つの山にわたる広大な墓所は貴重な文化遺産として茨城県の新たな魅力になる事は間違いありません。



水戸徳川家墓所

ホワイトハウス



ホワイトハウス

ホワイトハウスに。正面の建物が、外国首脳や議会関係者など要人との会談などを行うエグゼクティブレジデンス。向かって左側の建物が西棟で大統領執務室です。ここには副大統領や各補佐官など上級スタッフのオフィスが入ります。右側の東棟にはファーストレディやそのスタッフが入ります。

ホワイトハウス屋上には狙撃銃と双眼鏡を携帯する特別要員が24時間体制で周囲の警備に当たっています。

アメリカ・ニューヨーク市視察

6月25日から8日間の日程で、ニューヨーク市警察及び、ニューヨーク市消防本部をメインに視察いたしました。主たる目的は、ニューヨークの治安と防犯カメラの活用状況及び、9.11で活躍した消防本部の取り組み等です。

ニューヨーク市警(NYPD)視察

ニューヨーク市警(NYPD)南部マンハッタン安全総合センターを訪問し、ゴードン副署長から説明を受けました(写真)。彼は26年間、警察官をしており現在はテロ対策、殺人、治安などを専門にしています。

ニューヨーク市では1992年当時、年間2,500件の殺人事件がありました。毎月200件を越す殺人事件です。これらに対処するために「コムスタット」システムを活用した犯罪統計のコンピューターによる解析の導入を行いました。それにより正確でタイムリーな情報提供が出来るようになり、特に9.11後急速に整備が進みました。

更に監視カメラを民間の機関と連携して来年までに12,000ヶ所設置。これら全てをこのセンターで管理し瞬時に判断出来るようになっていきます。画面もクリアで車のナンバーもしっかり読み取れます。情報は5年間保管し、30日前の情報は瞬時に取り出せるそうです。

ニューヨーク市警の努力とコムスタットの導入により、2012年には殺人が年間412件にまでなったとの事です。この間ジュリアーノNY市長の指導力も大きかったと思います。



ニューヨーク市警

ニューヨーク消防局(FDNY)の視察



ニューヨーク消防局

ニューヨーク消防局(FDNY)は、市消防としては全米最大の規模で、ニューヨークの消防士は「アメリカで最も勇敢な消防士」と言われています。彼らを一躍世界的に有名にしたのは9.11の同時多発テロでした。

我々を迎えてくれたのは最高責任者であるターナーコミッショナー始め幹部の皆様でした。テロ対策と救急専門のジョゼフ氏から説明を受けました。彼は冒頭に「私達は9.11と3.11の共通の悲劇を体験しています。お互いがこの体験から何を学んだのか、共に分かち合うのは大切な事です。」と述べ我々も3.11の事から学びたいので是非その体験を聞かせて欲しいと切り出しました。2時間を越す熱い議論が交わされ有意義な視察となりました。

2001年9月11日。この日を忘れない。

アメリカ同時多発テロにより崩壊したワールドトレードセンター跡地に建てられた超高層ビル、ワンワールドトレードセンター(1WTC)に行ってきました。展望台は先月5月30日にオープンしたばかりです。541m、104階建、1,776フィートの高さは、米国が1776年に英国から独立宣言をした事に由来しています。

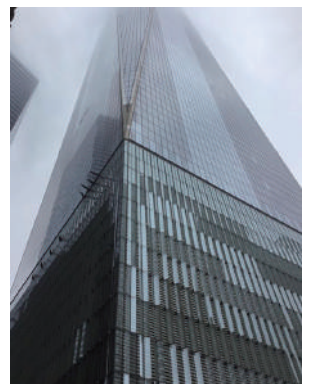
生憎のお天気でニューヨーク市を一望出来るはずの381mからの展望台からは何も見えませんでした。



9.11で崩落したビルの跡地がメモリアル慰霊碑になっています。

あのテロ事件から見事に悲劇を乗り越えたアメリカ、ニューヨーク市民に心から敬意を表したいと思います。

グランド・ゼロの同じ敷地に9.11メモリアル慰霊碑があり、この地で犠牲になられた方々の名前が刻まれています。



ワンワールドトレードセンター

動物愛護条例 守谷市議会でも可決

守谷市動物愛護協議会の和間会長さんが、思いがけなく訪ねてくれました。

守谷市に動物愛護の条例を作りたいと2013年10月に協議会を設立し、私も当初からお手伝いをさせて頂いております。3月の守谷市議会でも念願の条例が可決されました。

この条例の一字一句を提案してきた和間会長のひたむきさと動物愛護にかける情熱に動かされ、私も出来る限りの応援をしなければと思いいっしょに活動をしてまいりました。良かったです。



守谷市動物愛護協議会の和間会長さんと

青年海外協力隊を育てる会会長に



筑波JICAにての総会

5月31日、筑波JICAで「茨城県青年海外協力隊を育てる会」の総会が行われました。

会長は土浦市長の中川さんが発足以来18年の間努めてこられました。この度諸般の事情で会長職を卒業させて頂きたいとの申し出があり、私とその任に当たる事になりました。

私はこれまで副会長として中川会長と共に育てる会の草創期から、今日の育てる会を創り上げてきた戦友です。

「青年海外協力隊」は世界中から期待されております。その応援団としてこれからも旗を振り続けたいと思います。

シルバーリハビリ体操10周年記念式典



シルバーリハビリ10周年記念式典で挨拶

6月13日守谷市シルバーリハビリ体操10周年記念式典で御祝いの言葉を申し上げます。この体操は市内各所の出前サロンで「ばたか体操」として行われており、高齢者の健康長寿を保つために大きな貢献をしています。指導士会の皆様は100名を超え、活

発に活動をされており、頭の下がる思いです。

中央公民館大ホールは満席で、外でモニターを見ている方も沢山いました。今後の益々の発展を願うところです。

地域の絆



草刈で地域の絆を深めました

6月14日は朝から大柏下ヶ戸地区の皆さんと県道都市軸道路の草刈りをいたしました。ここは県道で主要な通学路です。

県の責任で除草も含め管理をしなければならない所ですが、行政にばかり要求するのではなく、自分達で出来る事は自分達でやろうと三年前から取り組みました。今回は36人が参加し、6月と8月の年に2回の草刈りが、今では地域の大切なコミュニケーションの場になっています。

地域の絆が言われて久しいが、素晴らしいお手本がここにはあります。

グリーリー市からのお客様



着物姿のグリーリー市からのお客様

6月4日守谷市の姉妹都市であるアメリカ、コロラド州グリーリー市から高校生10人とトム市長、市職員2人が来市されました。一週間の日本滞在です。

守谷市国際交流協会主催の日本文化体験では、お琴、投扇興、お茶の体験の他に着物の着付けをしていただきました。着物は外国の方にとって

憧れの的。急におしとやかになりました。

これからも姉妹都市として友好を深めてまいります。

「守谷みつばち夢プロジェクト」 この指と〜まれ!

みつばちのフソ病検査が5月29日に行われました。県の家畜衛生課から獣医さんと2人、市役所職員が1人、検査に来られました。



私が巣箱の中から1枚1枚取り出し、担当者が丁寧に検査をしていかれました。箱ごとハチを焼却処分にする事なく終わって良かった。

※フソ病とは、ミツバチの幼虫を侵す伝染病で、家畜伝染病予防法における法定伝染病です。

高野小運動会



高野小学校運動会

5月23日に守谷市内の小学校9校で運動会が開催されました。

私は母校でもある高野小学校に参加いたしました。守谷市は子供が増えている事もあり高野小学校の新1年生は2クラス70名のスタートです。

元気いっぱいの子供たちを見ていると私もエネルギーが充電してきます。

小川一成のひとりごと 危険ドラッグ条例制定の裏話

罰則規則を課す条例を策定するのはとても難しい。裁判に持ち込まれても勝てる内容でなければなりません。それには水戸地検と何度か打ち合わせをして、一言一句を慎重に考え条例を練り上げてきました。この協議に要した時間は約2ヶ月。

更にパブリックコメントをかけ、各会派に賛同を求めて6月議会最終日に上程いたしました。全会一致での可決に、取り組んできた苦勞が一気に報われました。巨悪は眠らせない。

茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成 検索

「小川一成のブログ」
とても面白い!

  配信中

趣味の養蜂

